

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 酢酸ビニルのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号 No. 2001-生30

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 酢酸ビニル
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換, 密閉容器)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 1.0, 1.8, 3.2, 5.6, 10.0 mg/L
公比 ; 1.8
- 6) 試験液量： 3 L/容器
- 7) 連数： 1 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10 尾/濃度区
- 9) 試験温度： 24±1 °C
- 10) 照明： 16 時間明/8 時間暗
- 11) 分析法： GC-MS法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：試験区において設定濃度に対して分析結果が±20%を超えたため、以下の値は測定値の幾何平均値を基に示した。
- 2) 96時間の半数致死濃度 (LC50)： 2.39 mg/L (95%信頼区間： 1.89 ~ 3.04 mg/L)